

## 平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

### 1. 学校概要

学校名 金沢市立泉中学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中高一貫教育  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他（ ）

住所 〒921-8036  
金沢市弥生1丁目26番1号

E-mail：izumi-j@kanazawa-city.ed.jp

Website：http://cms.kanazawa-city.ed.jp/izumi-j/

児童生徒数：男子215名 女子 200名 合計 415名  
 児童・生徒の年齢 12歳～15歳

### 3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（ ）

### 4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

本校では、総合的な学習の時間（以下IT）を中心に学習を進めている。ITは3年間で6期に分け、各学習テーマにしたがって、継続的・計画的に実施している。中でも体験学習や探究活動を積極的に取り入れ、自然環境や社会との「関わり」「つながり」を重視し、持続発展可能な社会の担い手の育成を目指している。

ア I期 自然とともに

校外学習として、自然体験学習として「いしかわ動物園」を訪問し、環

境やエコ活動について考える機会を設けた。その後、現代の自然環境について「水」「生き物」「エネルギー」「森林」「食べ物」の5つのテーマ別に分かれ、自分の課題を設定した。この課題解決に向け、関連施設を訪問し、見学、職員へのインタビューを行った。生徒は環境に関する問題解決に向けた実際の取組やその方向性を深く理解することができた。学習の成果のクラス発表会を行った。

#### イ II期 金沢を知ろう

1年では、「金沢を知ろう」のテーマで学習した。「金沢のまちなみ・歴史」については、観光ガイド“まいどさん”による講演会を行い、金沢についての理解を深めた。「伝統芸能」については、「加賀太鼓」を体験・見学し、地域で育まれてきた芸能についての理解を深めることができた。その後、金沢自主研修に向けて体験場所や訪問施設について班で相談しながら理解を深めた。

2年では、伝統工芸体験を取り入れた市内班別自主研修を行った。生徒自らテーマに沿った課題解決のための見学地を決定し、班ごとに協力して計画を立て、インタビューや見学を実施した。この研修の成果をスライドにまとめ、発表会を行った。これにより金沢の文化的景観や伝統工芸などを知ることができ、金沢の再発見につながった。

#### ウ III期 人とともに

キャリア体験の事前学習として社会で活躍する職業人を招いての講演会を行い、地域密着型や世界で幅広く活躍する職業人の考えに触れることで、職業観や勤労観を高めた。キャリア体験当日はとまどいながらも、地域で働く人々とふれあい、地域社会の営みについて知ることができた。また、自分の進路を考える上でよい機会となった。学習成果はレポートにまとめ、廊下に掲示し全体で共有した。

#### エ IV期 日本を知ろう

2年ではII期で学んだ金沢の文化・伝統工芸・まちなみなどと比較しながら、視野を広げ、日本の伝統を色濃く残す京都について学習した。そして、修学旅行での見学候補地の調査を行い、それをもとに京都班別自主研修のモデルプランを作成した。さらに伝統工芸や伝統芸能、食文化について調べ学習を行い、幅広い知識を得た上での体験活動に向けて良い準備ができた。

3年では修学旅行を実施した。前年度作成したモデルプランを活かした京都班別調査を皮切りに、京都、大阪、奈良、神戸を回った。学習内容は旅行記という形でまとめた。2泊3日の旅行を通して、現代に残る日本独自の文化、伝統に直接ふれ、金沢との比較を多角的に行って、考察を深めることができた。

#### オ V期 世界を知ろう

金沢の姉妹都市を知り、世界にはさまざまな暮らし方をしている人々がいることを知った。また、「識字率」「富の格差」等の世界の諸問題について学び、国際理解講座のワークショップで体感した。そして、世界の負の連鎖をどうすれば断ち切れるかグループで考えをまとめ、持続可能な地球を作るために大切にしたいものについて各自が「joining hands」のイラストで描いた。

カ VI期 社会とともに

3年間「ともに生きる」という視点で学んできたITの学習を振り返って、各自が課題を見つけ、一人一研究として卒業研究を進めた。そして、調べて分かったことや、どうすれば世界的規模の問題を解決できるか、自分たちができることは何かを考えた。研究成果は提案としてパワーポイントにまとめ、学級発表、学年発表を行った。学年発表は授業参観として実施し、多数の保護者に参観していただいた。

キ 生徒会活動

本校の生徒会は、「つながりプロジェクト」として、つながりを大切にしながら活動を継続的に行っている。

校区内の3校（泉中学校、泉小学校、中村町小学校）の児童・生徒会の委員や役員が一堂に会する「iPSサミット(izumi Pupil Student summit)」を通して共同での活動と呼びかけ、「ユネスコ寺子屋運動」「ボトルキャップの回収」「ベルマーク運動」「あいさつ運動」等を行ってきた。また、小学校での「泉中読みきかせ隊」による絵本の読み聞かせ活動や英語の絵本の読み聞かせを通して、小学校との交流を進めている。また国内のつながりでは、東日本大震災に対し、金沢市のユネスコスクール中学生派遣事業に3年連続参加した。そして、宮城県気仙沼市の中学校との交流を継続中である。世界へのつながりでは、「Smile Africa Project」「“届けよう 服のチカラ” プロジェクト」などを行い、自分達にできることから行動することを目指している。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（ ）